

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和2年10月2日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月2日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をいたします。

まず、1番の原子力規制委員会の関係です。

(1) 第30回原子力規制委員会臨時会議。本日10月2日金曜日の11時から行われました。議題は、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う国家賠償等請求訴訟（仙台高裁）の判決について。こちらは9月30日の高裁判決を踏まえた規制委員会としての対応方針を審議したものです。30日の判決後に開催が決まりましたので、前回のブリーフィングでは申し上げることができませんでした。

続きまして、2番の審査会合の関係です。1枚おめくりいただきまして、2ページ目を御覧ください。真ん中から参ります。10月6日火曜日、(5) 第1回渦電流探傷試験、超音波探傷試験及び漏えい率試験に係る日本電気協会の規格の技術評価に関する検討チーム。こちらは7月15日の原子力規制委員会におきまして、試験方法に関する3つの民間規格について技術評価を行うこととされました。これを踏まえて、それぞれの規格について日本電気協会から説明を受けるものです。

続きまして、その下、(6) 第50回東海再処理施設安全監視チーム会合。こちらは日本原子力研究開発機構（JAEA）の東海再処理施設の廃止措置計画変更認可に関しまして、ガラス固化技術開発施設（TVF）と高放射性廃液貯蔵場（HAW）の事故対処設備と、その対策手順の詳細について説明を受けるものです。

続きまして、その下です。(7) 第5回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チーム。議題ですけれども、7月8日の原子力規制委員会におきまして、デジタル安全保護回路の共通要因故障対策について、事業者の自主的な取組を把握する方針が了承されました。これを踏まえて、今回、日本原子力エネルギー協議会（ATENA）から、事業者による自主的対策の進捗状況について説明を受けるものです。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、上から2つ目です。(9) 第376回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は2つございます。

1つ目は、三菱原子燃料の加工施設の設計工事計画認可に関しまして、認可申請書のチェック体制についての9月7日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の2つ目は、同じ三菱原子燃料の加工施設の保安規定変更認可に関しまして、改正原子炉等規制法の施行に伴う品質マネジメントシステムについての9月4日の認可申請について説明を受けるものです。

続きまして、1つ飛ばしてその下です。10月8日木曜日、(11)第904回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは日本原電東海第二発電所の設置変更許可に関しまして、いわゆる第3電源、所内常設直流電源設備の3系統目についての昨年9月24日の申請についての概要説明を受けるものです。

続きまして、その下です。(12)第905回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは中国電力島根原子力発電所2号機、関西電力美浜発電所3号機、同じく関西電力大飯発電所3号機、4号機、最後に日本原電東海第二発電所のこれらの設置変更許可に関する審査を行うものです。

続きまして、その下です。(13)第1回審査実績を踏まえた規制基準等の記載の具体化・表現の改善に関する会合。こちらは市村原子力規制部長の対応となります。

議題ですけれども、9月23日の原子力規制委員会におきまして、審査実績等を踏まえた規制基準等の改善に関して、取組計画を策定することとされました。これを受けまして、この会合で規制庁内、事業者から意見・提案のあった見直し事項の扱いについて、改めて整理を行うものです。

1枚おめくりいただきまして、4ページ目です。一番上から参ります。10月9日金曜日、(14)第14回原子力施設等における事故トラブル事象への対応に関する公開会合。こちらは、武山安全規制管理官の対応となります。

議題ですけれども、関西電力高浜発電所3号機から2月18日に報告のあった法令報告事象に関しまして、9月7日に原因と対策に関する報告書を受理しましたので、その内容について説明を受けるものです。ちなみに、この会合は9月18日に予定されていましたが、延期されてまいりました。

最後です。その下です。(15)第906回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は大きく2つございます。

議題の1つ目は、電源開発大間原子力発電所の設置変更許可に関しまして、敷地内のdF断層系についての8月28日の会合のコメント回答を受けるとともに、敷地外のsF断層系についての4月16日の会合のコメント回答を受けるものです。

議題の2つ目は、九州電力玄海原子力発電所3号機、4号機の使用済燃料貯蔵施設に係る設置変更許可に関しまして、資料の記載の適正化についての1月17日の会合のコメント回答を受けるとともに、周辺斜面の安定性について、説明を受けるものです。

私からは以上となります。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。

ありがとうございました。

—了—